

2月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども
R3. 1. 29 文京区立本駒込幼稚園



子は第一の宝

副園長 山下 美幸

年明けから、冬らしい寒さの日が続いています。今年は、全国的にも寒波によって、積雪が多い地域もあり、改めて自然の力の偉大さを感じています。1月に発出された緊急事態宣言により、引き続き、感染予防を徹底する日々ですが、子どもたちの元気に遊ぶ姿にほっとする毎日です。

職員室にいと、廊下で遊ぶちゅうりっぷ組の音が聞こえてきます。「～しようよ」「いいよ」などのやりとりも出てきて、遊びの中で友達との関わりも見られるようになってきました。帰りの支度でも、自分で園服のボタンができたことを誇らしげに見せてくれています。

さくら組の様子を見に行くと、戸外で元気に固定遊具や鬼ごっこ、凧揚げをして遊んでいます。戸外から戻ってきた幼児が嬉しそうに「今日は雲梯で4つ（4本目まで）できるようになったんだよ」「今度見に来てね」とお話してくれました。外は寒くても、できるようになりたい思いをもち、夢中になって遊ぶ姿が見られています。

すみれ組は、幼稚園生活最後の3学期となりました。学級の友達とのつながりを深めながら過ごす姿が見られます。集合時には、イスに座って担任の話を聞いていますが、姿勢よく座ることを意識する姿が多くなってきました。降園前に読み聞かせしている本も、長編で挿絵が少なく、一日で読み終わらないものが多くなりましたが、よく聞き、想像を巡らせています。読み終わると、「きつこうなるのかな」と友達と予想する姿も見られ、小学校の授業の中で、考え、思い巡らす姿につながると感じました。

このような幼児の姿から毎日パワーをいただいています。「子は第一の宝」とことわざがありますが、どのような状況下でも、幼児の元気に遊ぶ姿や笑顔を絶やしてはならないと切に感じています。

幼稚園では、次年度に向けての教育計画を立てる時期となりました。今年度の反省・評価をもとに検討しているところですが、感染症対策を講じながらの状況下で、教育活動も柔軟に対応することが大切だと感じています。3密を防ぐ保育の展開は、決して簡単なことではありませんが、今年度、取り組みながら学んだ感染症対策を生かして、園や地域の宝である幼児の健やかな成長が保障できるようにしていきたいと思えます。残り少ない今年度ですが、幼児一人一人が力を発揮し、自分の成長を実感し、進級や修学への期待が高まるように指導に努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、よろしくお願いいたします。

緊急事態宣言中の1月誕生会では、保護者のインタビューも事前に動画撮影し、スクリーンで見ました。1月生まれの保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



ホールでも落ち着いて参加するちゅうりっぷ組

さくら組、すみれ組は担任がマジックショーをした映像も見ました

